

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
(旧 名古屋第二赤十字病院)で
診療を受けられる／受けられた患者さんへ
～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	ロボット支援下胃手術と腹腔鏡下胃手術の比較検討		
研究実施期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2024年12月31日		
研究実施診療科	一般消化器外科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2019年12月9日	
	院長が研究実施を許可した日	2019年12月10日	
対象となる方	(西暦)2018年6月1日～(西暦)2014年12月31日に、当院一般消化器外科において、胃がんのために手術を受けた方		
研究責任者	所属	一般消化器外科	氏名 坂本英至
研究の意義	胃癌に対する手術として腹腔鏡下手術、ロボット支援下手術のどちらがどのような症例により適しているかを検討します。		
研究の目的	胃癌に対するロボット支援下手術と腹腔鏡手術の利点、欠点を明らかにします。		
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、統計学的に検討します。		
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、匿名化した上で使用します。(年齢、体重、性別等の基本情報、手術治療の情報、入院の情報、採血結果等)		
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。		
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。		
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。		
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。		
情報等の二次利用	本研究で得られた情報は、本研究の目的以外には使用しません。		

問い合わせ先	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 一般消化器外科 坂本 英至 電話 052-832-1121 (代表)
--------	--